

## 来校、ありがとうございました

6月11日（火）～13日（木）、学校公開を行い、のべ32名（保護者19名、地域の方13名）の方に来校していただきました。お忙しい中足を運んでくださり、ありがとうございました。授業評価アンケートの感想欄に書いてあったことを抜粋して紹介します。

○苦手な子は、得意な子が教えてあげていました。さすが5・6年生、頼もしい。

○授業がわかりやすかった。自分の意見をしっかり言えていた（1・2年生）

○5・6年物作り教室は、プラモデル作りでしたが、一人ひとり楽しく取り組んでいる姿が良かったです。

○防犯教室では、子どもたちが立派でした。

○涼しくて集中できる！

参観していただいてわかったと思いますが、子どもたちは非常に落ち着いて授業を受け、楽しく学校生活を送っています。この状態を維持しながら、「受け身にならずに主体的に学習に取り組む」という課題点を改善していけたらと考えています。

また、この期間、スポーツテスト、学校保健委員会（救命救急講習）、人権参観日、避難訓練、引き渡し訓練を実施し、それぞれ成果を上げることができました。スポーツテストや救命救急講座では保護者の皆様にも参加していただきました。

「ペースメーカーをつけている人のAEDはどうするのか」など、熱心に質問をしながら講座を受けている姿を見て、子どもたちにこういう所を学んでほしいなあと思いました。

日赤や広瀬交番など、外部関係機関に助けいただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

## お茶について学びました

6月5日（水）、光貞さんに来校していただき、3・4年生がお茶について学びました。本校は5月2日に広瀬分校でやぶきた（藪北）の葉を摘み、その茶葉を加工してお茶にしています。しかし、光貞さんの作っておられるのはカワラケツメイ茶で、香りも味も違います。お茶にたくさんの種類があることさえ私たちは知らなかったもので、とても勉強になりました。おいしいお茶を飲むことができ、子どもたちも大喜びでした。



## 田植えをしました

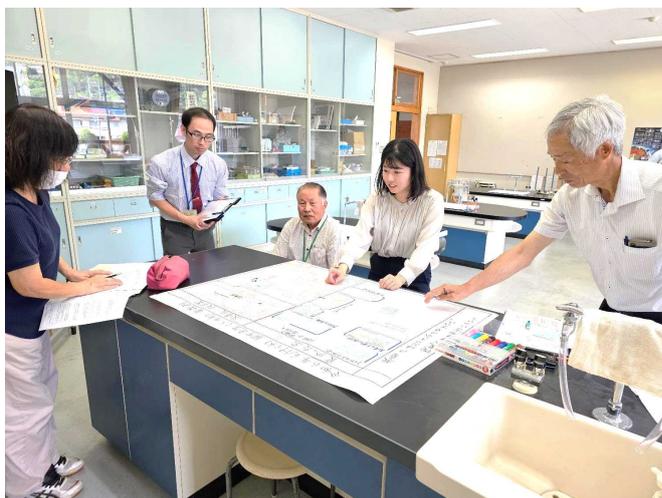
5月14日（金）、5・6年の児童が田植え体験をしました。天気がとても良かったので、水を張った田んぼに足を入れるのは、気持ちよかったですのではないかと思います（子どもたちは長靴下をはいて入りました）。初めの頃は泥がはねないようにおそるおそる動いていたのですが、田の感触や苗植えに慣れるにしたがって行動が活発に大胆になり、最後にはほとんどの児童が泥だらけになっていました。しかし、皆笑顔で、とても楽しかったようです。田や苗を準備してくださった光貞さん、白石さん、本当にありがとうございました。そして、今後も田の管理をよろしく願います。



錦の大自然の中の田植え 最高！

## ユニット型研修への参加、ありがとうございました

6月19日（水）、本校でユニット型研修を行いました。学校運営協議会委員の方に授業研修会に参加していただき意見や助言をいただくことで、授業改善をし、児童の学力向上に生かすことが目的です。今年11月には岩国市へき地・複式教育研究発表会を本校で開催することもあり、3・4年生の複式授業（算数）を参観していただきました。授業後の研究協議では、「ヒントカードの使い方に工夫がほしい」等の課題指摘や「桁数の違う数字をわざと先頭をそろえて提示したのはよかったのか？」という議論もあり、とても有意義な研修会となりました。また、翌日には研修会の内容を見聞にフィードバックし、よりよくするにはどうしたらよいかという話し合いもしました。今よりもっと効果的な複式授業が行えるよう、研修を継続していきます。



## トイレトペーパーの寄贈、ありがとうございます

6月17日（月）、錦町の会社の方が、トイレトペーパーを学校に寄贈してくださいました。学校を代表して、保健委員のメンバーが校長室で受贈しました。この会社は、仕事をする中で出た廃棄紙を回収し、社会福祉法人でトイレトペーパーをつくってもらい、地元の学校へ配布しているとのこと。社長さんは、「紙をリサイクルしたり、障害者雇用を応援したりすることで、SDGs（持続可能な社会）に貢献したい」と言っておられました。学校も、いただいた物を丁寧に使うことで、SDGsに貢献しなければと思いました。大切に使用させていただきます。

